

問題発見技法 課題 4 クラスター分析をしよう

【課題】

2006 年 6 月現在、道州制の導入検討・議論がなされているが、仮に道州制を採用する場合、どの都道府県を同じ道州とすべきか、いくつかのデータを用いてクラスター分析をしてみよう。

参考例 1：愛知県と中部圏各県の結びつきについて

参考例 2：神奈川県における市町村のあり方について

【進め方】

まずは、各都道府県の類似性を測るデータを決めよう。どのようなデータを用いても良いが、各都道府県の特徴を表せる指標を用いること。項目数は 5～10 程度で行ってみよう。クラスター分析をし、デンドログラムを用いて提言する道州地図を描いてみよう。最後に考察をし、道州制案を提言しよう。

【提出】

〆切：7 月 21 日 (金) 17:00【時間厳守】 提出先：3304 研究室 (or ポスト)

A4 用紙に (左上ホチキス止め) レポートとして纏め、紙媒体で提出すること。レポートの書き方は以下に準じること。

1. はじめに ← どのような観点から道州制のあり方を探っていくのか
2. 準備 ← クラスター分析に用いる項目を列挙し、それらを選んだ根拠などを述べる。また、各データの出自を明記する。
3. クラスター分析 ← クラスター分析を行う。SPSS を用いてよい、また結果だけでよい。ここで言う結果とは、デンドログラム (樹形図) を指す。ただし、デンドログラムは A4 用紙 1 ページに収まるよう綺麗に清書して出力すること。
4. 地図 ← 3. のクラスター分析の結果を受けて、道州制の地図を描く。地図はフリーソフト・フリーデータなどを利用すると良い。
5. 考察 ← 分析結果を考察し、道州制をどのようにすべきか提言せよ。
6. 意見・コメント ← 個人毎の意見・コメントを書く。**感想や会議の経過・参加具合、他人の様子などは書かないこと** (ここにそれらを書いた学生は**マイナス評価**とする)。これらをどうしても書きたい場合は、「7. 感想」を付加し、そこに書くこと。

目安として、「1」「2」を併せて A4 用紙 1 ページ、「3」が 1 ページ、「4」が 1 ページ、「5」「6」で 2～3 ページ程度に纏めてみよう。

その他不明な点は、教員に聞くこと。